民報にしわが 第10号
町民のひろば

発行 2016・4・26(火)

日本共産党西和賀町委員会
岩手県西和賀町沢内字長瀬野1-49-16
TEL 0197-85-3273・FAX 72-5140

なんでも相談所
- どこに相談したらいいの
- 誰も相談する人がいない
- 悩みかかえている方、

お気軽に左記へどうぞ
プライバシーは守ります。

しんぶん赤旗をご購読下さい。
日刊紙 3497円/月
(本体 3238円)
日曜版 823円/月
(762円)
配達は支部でやっています。

町議会議員
高橋和子さん

町内を声をかけられてあちらこちらとかけ回っています。上記が連絡先、一般質問は欠かさない。

3月・予算議会より 報告
人口減少の町だから 地域の組織づくりと若者定着を

3月4日から18日まで第7回西和賀町議会定例会が開催されました。

3月議会は予算審議をする議会であり、一般会計には63億7600万円、特別会計の合計は65億1111万円、合わせて128億8711万円と計上されました。

今予算議会での問題点は、人口減少による地方交付税額の減少と、合併10年後問題で、これまで激減する地方交付税に一定の配慮があり交付されていたものが年々減額されてくるというです。

新年度の課題は

今年度の事業では消防署の建設を町立病院の北側に予定し、準備に入るそうです。

銀河ホールの改修に着手、湯田地区簡易水道の統合整備が最終年度となり、来年度から開始されます。昨年度はふるさと納税が1億8000万円あったので、今年度はその費用として6400万円程が予算化されました。

今年度の審議を見ると、人口減少・若年層対策・高齢者支援対策・医療保健福祉の連携・林業振興。地域からの組織づくり等が話題となり、今後の町づくりのためクリヤすべき課題となりそうです。

3月9日 一般質問

千点を高橋和子町議が質す
高齢者支援・地域医療・子育て支援・男女共同参画

質問1 買物や雪かきなどの高齢者支援。ミニデイサービス。高齢者の共同住宅等を地域でとり組む場合は支援すべき。

答弁 すでにとり組んでいるものや予算化されているものを継続し、必要なものについては住民や地域での協議をしつつ進めていきたい。

質問2 地域医療はどうあるべきか、保健・医療・福祉の連携を医療側からどのように進めていくのか。

答弁 院長はシームレス医療を提唱している。開業医や歯科との連携に力を入れ、会議を定例化している。又地域包括支援センターとも密に連携しており、保健とは課題を共有しつつ検討に入っていく。

質問3 子育て支援のアンケートから。

答弁 5つの保育所と学童クラブや病児保育の整備で保護者の要望には答えていると思う。

アンケートでは保護者の職場復帰の環境づくりを主体としたものだが、大方答えていると認識している。

質問4 男女共同参画の進ちょく状況は。

答弁 男女共同プランに基づいて評価するが、平成29年で35%(町の役職の女性の割合)をめざす。今は28%であり、プランの周知と啓発が必要である。

採択されました 安全保障関連2法の廃止を求める請願・意見書

岩手県母親大会連絡会西和賀 代表 小野寺ゆり子
新日本婦人の会 湯田班 代表 高橋月子 の
両代表よりおされた上記請願が、3月18日の本会議で採択され、その後町議会からおされた意見書も賛成多数で採択され、平和への意志が示されました。